

国際ロータリー第2610地区 **南砺ロータリークラブ**ク ラ ブ 会 報

なんと

NO. 2132

NANTO

URL http:www.nanto-rc.jp

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30 点鐘 例会場/金沢信用金庫福光支店 4 階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 № 53-1334



第2192回例会 平成24年9月11日(火)曇

●点鐘 12:30 中田 修会長●司会 永井則平SAA

●ソング 「奉仕の理想」

◆ゲスト 富山第4分区ガバナー補佐 岡部一輝君 (南砺RC)

●会長の時間 中田 修会長 立野原歴史探訪

「立野原の歴史」

富山県の南西部に位置する立野原の西は小矢部川、東は砺波山田川に跨る隆起からなる七つの丘陵地で形成されている。この地は古代から人との関りがあり、古くは石器時代の鏃や黒曜石のナイフが昭和40年代に出土されている。また、縄文時代の住居跡も遺跡調査で確認されている。

「監的壕」

立野原は明治、大正、昭和の各期にわたり、旧、日本陸軍の兵科一つに砲兵隊があり、金沢市の第九師団隷下には野砲兵連隊があり、その射撃演習場が東砺波、西砺波郡に跨って設置されていた。その遺構も数少なくなり、監的壕2ヶ所残すのみとなった。その一つは、南砺市立野原西3300番地に所在し球形ドーム状を呈することから『目玉監的壕』との通称がある。小高い大地に立地し、眼下には砺波平野を一望できる。同壕はコンクリート製だが経年の風雨にさらされ亀裂が生じており遺構の保存が望まれる。

「次郎右衛門堂」遺跡

この遺跡は立野新から七曲に至る道路の東側台地上に位置し、遺跡の北方には最初の開拓者である次郎右衛門なる人物を祭った祠が、今もひっそりと残っている。この地の発掘調査は昭和40年代におこなわれたが出土品が少なく、石器時代の剥片、紋様がさだかでない土器が出土されている。〔近代史研究家・稲垣森太氏の文献を一部引用〕

●出席報告

上坂武喜委員長

会員数	9月11日出席率	8月28日の修正
55 (免除0)	83.64% (欠9)	7 9.63% (欠11メーク0)

メーキャップ:



城南橋(陸軍橋)東より野口、示野を通って立野原へ続く (沿道の桜が大きくなっているので昭和10年代の写真?)=中田修君提供

●ご母堂葬儀参詣御礼 高野 実会員

●幹事報告

渡邊秀一幹事

①わらび学園より9月の「園便り」が届いております。

- ②「ロータリーの友」英語版のご案内…1冊525円 ご希望の方は、事務局まで。
- ③第2610地区インターアクト海外研修報告書が届いております。 (3月のオーストラリア研修)
- ④高岡北RCより例会変更が届いております。
- ⑤10/2ガバナー公式訪問の出欠記入お願いします。

●委員会報告

○ロータリー情報 荒井 進委員長

(ポリオ情報) 先月25日の発表は111件でしたが、9月5日 現在は134件に増えていました。若干の増減はありますが、 昨年の650件から見れば随分減っております。ポリオ撲滅運 動が効能しているからだと思います。

18日の卓話は私の担当ですが、東京京浜RCの木村準氏に依頼してあります。先日の高岡西RCでの木村準氏の卓話は「北朝鮮・三代の世襲」でした。今回も北朝鮮の情報を中心に話されると思います。時間が30分に制約されていますが興味ある話になると思います。ご拝聴ください。

○出席報告

上坂武喜委員長

9月22日午前、ロータアクトの**芋ほり**があります10月2日の事前メイクをして、100%出席にしましょう。

○出席 100%にしよう!

上坂武喜委員長

◎10月2日(ガバナー公式訪問日)を100%の日にしたい と思います。当日欠席の方は9月中に事前メークを。

〔9月22日午前、ロータアクトの芋ほり〕参加でメークOKI

本日のプログラム9月18日(火)第2193回卓話木村準氏株日本抵抗器製作所代表取締役(東京京浜RC)荒井進会員担当

次回の予定9月25日(火) 第2194回米山記念奨学会情報―ゲスト何穎瑜(カ・エイユ) 奨学生税光信作米山委員長担当





今年度富山第4分区ガバナー補佐を拝命致しました。大きな役割の一つとしてガバナー公式訪問の前に第4分区内の各クラブを事前訪問させていただき、ガバナーに現状報告する義務が課せられております。

現在まで3クラブの公式訪問を終え、本日は4番目のクラブ訪問として、私の拙い卓話をさせて頂きます。自クラブでの卓話は一番勇気がいりますが、ロータリーの友情で何卒ご容赦ください。 私は、青年会議所を卒業の後、ロータリークラブに入会させていただき、29年間をまたたく間に過ごしてまいりました。

ロータリークラブはどのような活動をされているかなど殆ど理解もせず、地域の有力者の方々が多く入会されている中に、私のような者が入会することに随分悩みましたが、青年会議所のOBも沢山入会されており、OBからの勧めで断ることもできず入会させて頂いたという、全く単純な入会動機でありました。

以来29年間。念仏を聞く以上に「奉仕の理想」、「最も多く奉仕するもの、最も多く報いられる」、「超我の奉仕」、そうして「四つのテスト」などを聞き諭されてきましたが、未だに判るようで良く判っていない、非常に出来の悪い古参会員になっています。

少し前、の荒井進会員(パスト会長)から、「シェルドンの森」と云う小冊子を頂きました。 著者は尼崎西ロータリークラブ会員で、2680地区(兵庫)パストガバナーの田中毅氏です。

田中氏は、奉仕の理念を理解するため、15年ほど前よりシェルドンの研究に取り組まれ、ロータリーの「源流の会」を主宰されています。全国には多くのロータリアンが参加されているようです。

「シェルドンの森」は、田中氏が自費でシェルドンの講演記録や書籍を世界中から探し求め、ご自身で翻訳され出版された内の一冊です。アーサー・フレデリック・シェルドン (Arthur Frederick Sheldon)については紛れもなく世界の第一人者と確信いたします。

さて、「シェルドンの森」には、ポール・ハリスがシカゴクラブを設立された当時の物質的相互扶助と親睦を中心としたロータリークラブから、シェルドンの入会により「奉仕の理念」をロータリークラブが提唱するに至る過程や、シェルドンの提唱したロータリークラブの職業奉仕理念とは、どのような考え方が基本にされているかなどが詳しく記されています。

シェルドンのモットーは経営学の理念であり、黄金律を説いたもので哲学だとも述べられており、 「自分が他人からしてもらいたいと考えることを、まず他人にすること」すなわち自分が金銭を 儲けたいと思うのなら、まず他人に奉仕をすることであり、先に奉仕があれば、必ず後から報酬 がついてくると説いています。シェルドンの職業奉仕理念は、現在にも十分通じる事業の「成功哲学」 だと私は思います。是非機会を見てアーサー・フレデリック・シェルドンに興味を持ってください。



アーサー F.シェルドン 1868~1935)

中尾ガバナーの地区運営方針は「Think Change and Love Rotary」と掲げておられます。原点に戻ると同時に、現状を良く考え、変えるべきものは変え、そしてロータリーを好きになろうと熱く訴えておられます。それらの事から一夜漬けの知識で誠に申し訳ありませんが、職業奉仕の理念ついて少し触れてみました。以後の議論の材料の一つとしていただければ幸甚です。

★ニコニコボックス

山田 勉委員長

中田修君 一雨来て、少しは秋らしくなりますかね。

荒井君 岡部ガバナー補佐。お役目ご苦労様でございます。益々のご活躍を祈念いたします。

高野君 母の葬儀にお参り下さいまして、有難うございました。

森 君 岡部ガバナー補佐、今日はご苦労様です。

畑山君 岡部ガバナー補佐、今日は楽しみにしています。

藤田君 本日は岡部ガバナー補佐の話を聞きます。岡部さんご苦労様です。

細川君 岡部ガバナー補佐をお迎えして。

木本君 富山第四分区、ガバナー補佐、岡部一輝様迎えてご苦労様です。

澤田君 岡部ガバナー補佐の卓話心待ちにしておりました。楽しみにしております。

高田君 今日は岡部さん、よろしくお願いします。

武田君 孫の望愛(みれあ)の3才の誕生日です。大きくな~れ!!

西川君 城端別院善徳寺の本堂修復工事の起工式が終り、いよいよむぎや祭が終ると着工です。

三吉君 今朝の気温21℃で秋実感。あの酷暑が「ちょっと」懐かしいかも…。

河合映君 9月になって、いく分秋を感じる様です。

安谷君 早く帰ります。サイナラ。